

## 【教育委員会議事録】平成30年1月定例会

開催日時	平成30年1月24日（水） 9：30～10：30
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清（教育長） 藤井 悦子（教育長職務代理者） 児玉 典彦 林 俊作 伊東 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p>           教育部長 萬松 佳行            教育部理事 伊藤 信彦            教育部次長 井上 成人            教育政策課長 藤田 信夫            学校教育課長 木下 満明            教育研修課長 三井 清            学校支援課長 宇都宮 義弘            学校保健給食課長 山野 正俊            教育指導監（生徒指導推進室長） 瀬下 信二            生涯学習課長 中嶋 浩昭            文化財保護課長 沖吉 洋一郎            図書館政策課長 高森 俊明            美術館副館長 中村 正子            歴史博物館長補佐 古城 春樹            土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸            下関商業高等学校事務長 富田 智雄            菊川教育支所長 林 文男            豊田教育支所長 石田 正成            豊浦教育支所長 日吉 克浩            豊北教育支所長 西村 敬教            教育政策課長補佐 岡本 誠也            教育政策課主査 村田 浩樹            教育政策課主任 峰岡 優介         </p>
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】 .....	P 3
【署名委員の指名】 .....	P 3
【教育長報告】 .....	P 3
【議案審議】	
第1号 平成30年度使用下関市立小・中学校一般図書の新採択について .....	P 12
【報告事項】	
下関市立図書館の休館日の変更について .....	P 6
ユネスコ「世界の記憶」登録記念 特別展「朝鮮通信使一日韓の平和構築と文化交流の歴史」及び学術講演会の開催について .....	P 7
土井ヶ浜整備事業基本構想について .....	P 8
【その他】 .....	P 10
【閉会の宣告】 .....	P 12

## 【開会の宣告】

波佐間清(教育長)

それでは、教育委員会1月の定例会を開催いたします。

皆さん、おはようございます。今日は雪が降り、遠くの方は大変ではなかったかなと思いますが、予想はされていましてけれど、今、この市内の方はこういう調子ですが、山沿いの方はもっと降っているかもわかりません。北九州の方が酷いようで、向こうの方はだいぶん凍結しているという話も聞いております。豊北、豊田、菊川、豊浦のあたりの方々も大変だったと思いますが、帰りの際は気を付けてお帰りをいただければと思います。

## 【署名委員の指名】

波佐間清(教育長)

それでは、本日の議事録の署名は、「藤井委員」「林委員」をお願いいたします。

本日の日程につきましては、日程1の「議案」が1件、日程2の「報告事項」が3件となり、日程3「その他」となっております。よろしくをお願いいたします。

日程に関連いたしまして、最初に委員の皆さんにお諮りをいたしたいと思っております。「議案第1号平成30年度使用下関市立小・中学校一般図書採択変更については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、会議を公開しないことといたしたいと存じますが、委員の皆さま、よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは非公開とし、議事録についても、非公開といたしたいと存じますが、委員の皆さま、よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

また、非公開とすることといたしました議案は、日程3「その他」が終わった後に審議を行うことといたしたいと存じますが、委員の皆さま、よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、そのように進めさせていただきます。

傍聴者の皆様方には、非公開となりました議案の審議の際には、ご退出いただくこととなりますが、あらかじめご了承ください。よろしくをお願いいたします。

## 【教育長報告】

波佐間清(教育長)

それでは、教育長報告を行いたいと思っております。

2ページ、3ページに書いておりますが、「平成30年新年名刺交換会」が1月4日、海峡メッセ下関のイベントホールにて、開催されました。部長、理事、部次長と4名で参加させていただきました。新春のご挨拶と名刺交換をいたしました。

それから、新年の挨拶まわりに1月4日の午後から、報道各社にご挨拶に行きました。翌日5日は児童相談所、警察署関係、そして韓国教育院へ行かせていただき、新年の挨拶をいたしました。

また、1月の6日は「下関市消防出初式」がございまして、海峡メッセ下関、ゆめ広場でのパレード等あり、そして、メッセのイベントホールでは、式典をやった後、纏の演武がありました。皆さん方の中にも見られた方があるかも知れませんが、女性が1番上に乗っておりました。県知事さんも来ておられたのですが、県知事さんが「消防局員が纏のイベントをやるというのは他所にはない、下関だけではないかな」というふうなことを言っておられました。「大変珍しく、職員を鍛えておられる」ということを大変喜んでおられました。

それから、1月の7日は「成人の日記念式典」。教育委員さん方にも出席をいただき、まず本庁管内は下関市民会館の大ホールにて2,213人が対象。菊川・豊田管内は、菊川ふれあい会館の方で93人、豊浦・豊北管内が夢が丘のスポーツセンターで187人、午後からありました。後程、もし感想がありましたら言っていただければというふうにも思っております。

それから、1月の11日木曜日、都市センターホテルにおいて、中核市の教育長会議、役員会と臨時総会がありました。役員会で色々審議をし、その中で特に今回は「次世代の学校のあり方プロジェクト会議」を設置をして、関係の市の教育長の会議を行い、これのあり方について協議をいたしました。今回の1番のメインは研修会で、「教員の働き方改革と教育行政施策の課題」ということで、1番今話題になっている「働き方改革」。中教審の働き方改革特別部会長である小川正人氏によって、講演をしていただきました。まさに今、1番注目されております働き方改革の部会長であって、小川先生はそれの第一人者であります。そういう中で、このことを色々講演をしていただき、今、先生は大変忙しくて、ほとんどの講演はお断りをされている中で、中核市の教育長ということ、特別に来ていただいてお話をお聞きをいたしました。小川先生とは、放送大学に行っている校長先生がおられたんですが、その先生の指導教官ということで、兵庫教育大学の会にも来られて親しくさせていただいており、久しぶりにお会いをして、大変嬉しく思ったところであります。また、このことについては今1番大事なところで、先生方の働きすぎ、これをどうしていくか。手当の問題もあるし、健康を守るという視点で考えていくことが今後大切なことではないかというようなことも話し合っていました。また、その後、中核市の教育長の提言として、様々な意見をいただいたものを提言書に整備をしたところであります。

次に、青年会議所の新年会が13日にあり、これに参加させていただきました。若い青年会議所のメンバーが、大変エネルギッシュに活動しておられる様子を見ることができました。教育研修課長とも一緒に行ったんですが、青年会議所との関係も教育委員会としては様々なこと、特に今回はアメリカの視察団が来た時に、青年会議所の方がホームステイの関係者との関連をお世話をいただいたり、面倒を見ていただいたり、その関係もあって2人で出席をさせていただきました。

それから、「新しい学校ネットワーク釜山地域会来庁」と書いていますが、下関のコミュニティ・スクールについて、山口県の方に視察に行かれ、下関の方に来られて説明をしたところであります。今、韓国の釜山の方でもコミュニティ・スクールに関心を持っておられるということで、今日も石川県の能美市というところから視察が10時からあるようで、議員さんが来ておられるようであります。

それから、「下関市・長門市・美祢市の合同防災図上訓練」というのが1月17日に本庁の方であります。ちょうど1月17日は「阪神・淡路大震災」の日で、防災については我々も忘れてはならない日でありますので、こういう訓練を行いました。

それから、幼・小・中のPTAの研修会が1月20日午後、菊川のふれあい会館でございました。玄洋中学校のPTA会長、桜山小学校のPTA会長、お2人の実践発表。それから、千葉の方から来られた講師の先生の講演。PTAを楽にする方法という内容での講演をされました。

それから、花柳佳寿広さんが地域文化功労賞で、文科大臣から表彰を受けて、それと下関の教育文化功労賞、この2つの功労賞の受賞祝賀会が春帆楼でありまして、出席させていただきました。文部科学大臣表彰という中の地域文化功労賞でありますので、文科大臣から直接いただいたということで大変名誉に思っておられます。学校の方へ日本舞踊の指導にボランティアで行っていただいて、大変活躍をしていただいております。

それから、21日は城下町長府マラソン。長府中学校の方で、1,700名の参加があったようで大変良い天気にも恵まれて、マラソン日和であったなというふうに思いました。去年は雪の中を

走った、そういう印象がございます。

それから、中高連携推進協議会が昨日この場所でありまして、年3回、この中高連携を行うのですが、高等学校の校長先生、中学校の校長先生、小学校の代表2人、ここに来られて、今後の中高連携をどのようにしていくかということを整理し、来年度へ向けての話し合いをしたところでもあります。

以上、教育長報告をいたしました。先ほど申しましたが、成人の日等の感想なり思いを述べていただければと思っております。はい、藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理人)

私は、菊川・豊田管内の成人式に児玉委員さんと参加しました。菊川で行われた成人式は、保護者や地域の方々がとても温かく迎えていました。毎年、婦人会の方がおにぎりとお味噌汁を用意して、皆で子供達を祝っていてとても良い成人式でした。市民会館で行われた成人式では、少し時間の遅れがありました。これは、駐車場が少ないのが原因なのではないのかなと思いました。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。では児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

私が出席をした式典は、ちょうど菊川中学校に私が在職していた時の卒業生でしたので、この5年間の間に大人になったなと思って、大変嬉しく思いました。市民会館の方も思ったより静かで、落ち着いた成人式だったなと思っています。当日、色々とお世話をされた生涯学習課の皆さん、本当にありがとうございました。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。それでは林委員。

林俊作(教育委員)

思ったより静かと言いますか、今頃は落ち着いていますね。私は菊川・豊田の方でしたけど、やっぱり皆が同級生っていうのがあるので、結局、学校が1つしかないからね、中学校が。だから皆お友達だから、大変仲良くやっておられる。これはまたこれで凄く良いなというふうに思いました。

波佐間清(教育長)

それでは、伊東委員さん。

伊東まさ子(教育委員)

両会場とも、新成人の代表の挨拶に私は凄く感服しました。自分のプライベートな環境や経験を踏まえて、立派な決意表明をされていました。出席していた他の新成人としてこれを聞いていた方達も、これから気持ちを新たに人生を歩んでほしいなというふうに感じました。以上です。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。私は当日、市民会館の前の広場の方にも見に行って、様子を見ましたけれど、派手な衣装を着ているグループもいて、車もあったみたいですけど、それほど私が見た範囲では暴れているというところはなかったようです。林委員と私も7年、8年、一緒に成人式を見てきていますけれど、最初の頃は海峡メッセのイベントホールで開催をされていて、立式でした。だから立ったままで話を聞く。ゾロゾロゾロゾロ入ってきて、どこに居ても良い感じですので、居場所が固定していない。そういう中で、グループで、友達同士で話をずっとしているという様子で、市長の挨拶になってもザワザワ感はなくならず、そのままザワザワ

ワザワした中で市長の挨拶が最初の頃はずっと続いていました。3年前くらいに市民会館の方に移って、そこで最初のイベントで、今回もミュージカルの女性が歌を歌いました。あの歌を歌うのを最初に入れたおかげで、会場がシーンとなって歌を聴いてくれた。それで市長挨拶というふうになって、静かなところで市長さんの挨拶が聞けるようになったという経緯があります。したがって、あの歌がとても良かったなという感想が当時ありました。それで、今も歌が続いている。歌の人が1人の場合、2人の場合とあったようですが、その時々で状況でそういうふうになっているようで、私も最初に聴いた時、とても感動しました。素晴らしい歌声で、若者へ送るメッセージの1つとして、良かったなというふうに思っております。市民会館に移って、2年間また工事のために出来なかったで、また久しぶりに市民会館に行ったという感じでありますけれど、外にいる人達がもっともっと会場内に入って成人式の様子を見てくれるといいなというふうに思いますが、なかなか中まで入ってくるというのは、少ないことはないんですが、半分以上は外にありますので。皆さん方もまた様子を見て。旧郡部の方はとても良い雰囲気、親子そろって成人を祝っている。そして記念写真を撮るのに、もうお父さんお母さんも写真を撮っている。とても暖かい。そして先生方、特に恩師である先生方を小学校6年の担任と中学3年の担任の先生を、豊浦・豊北の方は実際呼ばれているようで、来賓として横に座っておられました。そして記念写真を撮るときも一緒に撮って。そういう状況であり、その地域ごとによって今までの伝統があるでしょう。市長さんとも話をするのですが、もう合併したんだから1箇所にとという話もあって、これまでの経緯を言うと一時期、10周年の時に安岡の武道館でやったらどうかという案も出て。その計画をして予算案まで作りました。ところが予算を出してみると、2,000万円くらい予算になって、非常に大きなお金がかかる。音響施設とか、そういうようなことも含めていくと。そしてバスの送迎。安岡まで行くのに。車で送迎される方もたくさんいるでしょうけど、そういうことができない人もいます。そういうことも総合して、これだけの予算を掛けるのはちょっと難しいだろうなということで断念した経緯もあります。今後、生涯学習課の方でまた検討はされると思いますが、どういう形が良いのか、今後もより良い成人式になるようにまた努めていきたいなというふうにも思っております。

それでは以上で教育長報告を終わりたいと思います。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは、教育長報告を終わりにいたします。

それでは、日程1の審議に入りたいと思いますが、第1号は先ほど申したように最後に回させていただきます。続きまして、日程2の報告事項から進めたいと思います。

#### 【報告事項】

下関市立図書館の休館日の変更について

波佐間清(教育長)

「下関市立図書館の休館日の変更について」、図書館政策課、お願いをいたします。

高森俊明(図書館政策課長)

図書館政策課でございます。よろしくお願ひいたします。「下関市立図書館の休館日の変更について」ご報告いたします。資料の4ページをご参照ください。下関市立図書館の設置等に関する条例第3条第2項の規定に基づきまして、平成30年3月の休館日を変更するものです。変更の内容は、定例の休館日であります平成30年3月30日の金曜日を開館日とし、代わりに平成30年3月31日の土曜日を休館日とするものです。変更の理由は、4月1日以降の業務を円滑に遂行することを目的として、館内整理等を行うためでございます。3月の休館日につきましては、年度内の最後の館内整理日となりますので、各図書館におきまして職員が一斉に揃って図書の整理を行っております。この機会に、新年度に向けた司書等の事務引継ぎも併せて行うことで、新

年度4月以降の業務を円滑に推進してまいりたいと考えております。なお、年度末の休館日の変更につきましては、今回が初めての取り組みでございますが、4月以降の業務の円滑化に効果があるようであれば、次年度以降も引き続き行うことを検討してまいりたいと考えております。以上、報告いたします。

波佐間清(教育長)

ただいまの報告につきまして、委員の皆さんは何かございますでしょうか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

よろしいですか。それではないようでしたら、本件については報告済みといたします

**【報告事項】**

ユネスコ「世界の記憶」登録記念 特別展「朝鮮通信使―日韓の平和構築と文化交流の歴史」及び学術講演会の開催について

波佐間清(教育長)

続きまして、「ユネスコ「世界の記憶」登録記念 特別展「朝鮮通信使―日韓の平和構築と文化交流の歴史」及び学術講演会の開催について」、歴史博物館、お願いいたします。

古城春樹(歴史博物館長補佐)

歴史博物館です。よろしく申し上げます。歴史博物館で開催いたします「ユネスコ「世界の記憶」登録記念 特別展「朝鮮通信使―日韓の平和構築と文化交流の歴史」及び学術講演会の開催について」ご案内申し上げます。展覧会につきましては、平成29年10月に、ユネスコ「世界の記憶」に登録されました「朝鮮通信使に関する記録」の日本側の資料の一部とその関連資料におきまして、朝鮮通信使が果たした役割と歴史的な意義並びに本市との深い関わりについて、紹介させていただくものでございます。お手元のチラシをご覧ください。チラシの表面に掲載しております、朝鮮通信使歓待図屏風は、京都の泉涌寺さんのご所蔵でございまして、公開されるのが非常に稀な資料でございます。また、裏面にはこの度の登録資料であり、かつ国の重要文化財でとなっているものや、県の指定文化財になっているものを掲載しておりますが、この他にも指定文化財や貴重な資料、合せて43件が出品をされます。このうち登録資料は31件でございます。この機会に是非ご覧いただければと思っております。会期は2月3日土曜日から3月11日日曜日までとなっております。なお、開会初日には、9時15分から開会式を行う予定でございます。学術講演会につきましては、朝鮮通信使の歴史的意義について周知・普及することを目的としたもので、「朝鮮通信使―その歴史的意義」と題して開催させていただきます。講師は、京都造形芸術大学客員教授の仲尾宏先生と韓国釜慶大学校教授の朴花珍先生です。日時は2月10日土曜日の13時30分から16時30分までとなっております。開催場所は下関市民会館の中ホールです。こちらにも足をお運びいただければと思っております。以上、報告申し上げます。

波佐間清(教育長)

今、朝鮮通信使の関係のイベントについての説明がございました。委員の皆様何かございますか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

この中に関連イベントである2月10日の学術講演のことも書いてあるのですね。これは事前の申し込みは必要ですか。

古城春樹(歴史博物館長補佐)

はい。必要になっております。

波佐間清(教育長)

当日も良いと。

古城春樹(歴史博物館長補佐)

はい。当日も大丈夫かと思えます。

波佐間清(教育長)

席は400ということですので、早めに関心のある方は行っていただければと思います。朝鮮通信使、「世界の記憶遺産」に登録をされましたので、下関としてもしっかりと盛り上げていただきたいというふうに思います。それでは報告済みといたします。

**【報告事項】**

土井ヶ浜整備事業基本構想について

波佐間清(教育長)

続きまして、「土井ヶ浜整備事業基本構想について」、お願いをいたします。館長さんお願いします。

松下孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

人類学ミュージアムでございます。よろしくお願ひいたします。「土井ヶ浜整備事業基本構想について」ご説明をします。下関市には大変多くの遺跡が存在しておりまして、また、文化財も多数残されております。各地に造られました博物館や資料館など、こういった施設では、資料の調査や研究をおこないまして、展示・公開をし、多様で多彩な下関の歴史文化を伝えてまいりました。しかし、その資料は各施設の収蔵能力を超えてきておりまして、収蔵された資料を良好な環境のもとで収蔵・管理する施設も非常に限られております。また、既存の施設も年数が経ちまして、老朽化してまいりました。このような貴重な歴史的遺産を良好な環境のもとで保管し、教育や観光資源、さらには地域の活性化などに活用するとともに、未来へ継承していくために収蔵施設の整備や施設のリニューアルが喫緊の課題になっております。このような課題を解決するために、複数の分野の資料を収蔵し、展示・公開する共通展示収蔵施設の整備と人類学ミュージアムのリニューアルにつきまして、その基本構想に関する検討委員会を昨年度に立ち上げ、2年間にわたりまして議論を重ねてまいりました。この「土井ヶ浜整備事業基本構想」は、今後の整備計画の指針とするために、検討委員会の議論を取りまとめて作成したものでございます。本文の他に人類学ミュージアムの位置図でありますとか、人類学ミュージアムにおける資料の保管状況や、人類学ミュージアムの入館者の推移など関連の資料を含めた資料編も制作することにいたしております。以上、ご報告申し上げます。

波佐間清(教育長)

ただいま、「土井ヶ浜整備事業基本構想について」の概要を説明いただきました。今後の大事な整備の概要でありますので、お目通しをいただいたと思えますけれど、委員の皆様、何かご意見がございましたらお願いをいたします。いかがでしょうか。はい、児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

特に人類学ミュージアムについてのことではないのですが、下関には歴史博物館、考古博物館、そしてこのミュージアムと、3つの歴史に関する施設があります。この3つの施設はうまくリンクして1つの施設に行くと、次の施設も見たい、次に行くともう1ヶ所見たい、そ

ういう次から次に見ていきたくなるような仕掛けがいるのではないか。あるいは美術館に行っても、美術館に行ったことによって、歴史博物館にも行ってみようと思えるような、そういう仕掛けがあると上手くこの施設が活用できるのではないかなど、昨日ある学校に研修支援訪問に行った際に、下関で恐竜の卵が発見されたことを知らないと言う教員がいて、「え？」と思いました。また、そういう周知が学校現場にさえなされていないというのが課題かなと思ったところです。以上です。

波佐間清(教育長)

こういう、たくさん史跡、施設があるわけですが、そういう中で学校の教員が知らない。もっともそういう関連をPRしていくことが大事ではないかというご意見だったと思いますが、豊北の土井ヶ浜については豊北の方の学校関係は知っていると思いますけれど、旧市内の学校の方がそこまで足を延ばす、先生方が角島まで行かれて、その途中に見学して「これは子供達に見せないといけない」やっぱりそういうふうにしてもらえる連携というか、考古博物館、歴史博物館、土井ヶ浜、その他の施設との連携も大切ではないかなというふうにも思うのですが、館長さん何かその辺でご意見がございませうか。

松下孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

今のご指摘がありましたように、下関市に存在している多くの文化財が、市民の方や学校現場の先生方に周知されていないということがありますので、できるだけ色々な機会にこういう施設があるということを広めていきたいと思っています。また、考古博物館とは共同で行事を開催しておりますので、今後もそういう連携を強めていきたいと思っています。

波佐間清(教育長)

はい。文化財の方はどうでしょうか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

委員の方からご指摘があった点は、私共も大変重要な点というふうに考えておまして、この「土井ヶ浜整備事業基本構想」というのがあるかと思うんですけども、その9ページのところをご覧いただきたいと思うんですけども、9ページの②に「展示・公開・活用」というところがあるかと思うんですけども、その2つ目の「他の博物館施設と連携し、相互に情報を補完しあうことで市民や観光客に下関市の歴史や文化を深く理解してもらう体制づくりを進めます」その下で、「他の博物館施設と連携し、共同で展示や講座を積極的に展開し、それらを通じて下関市の歴史や文化を楽しく学べるプログラムの充実を図ります」としておまして、ここは収蔵が中心になるんですけども、収蔵した資料を展示する共通施設でもあります。そういうふうなもの色んな博物館のそういう資料をご覧いただくことによって、各博物館の方にも足を運んでいただく呼び水的な施設としての位置づけとしていきたいなと今考えています。基本構想ではまだその辺の具体的なプランまではできておりませんが、今後基本計画を策定する中で、だんだんその辺も具体化していければと思います。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございます。歴史博物館と美術館との関連等もあるわけですが、副館長さん、何かご意見ございませうか。

中村正子(美術館副館長)

歴史博物館と美術館で、観覧者の方にお互いに今どんな展覧会をしているということを知っていただくために、前回も窓口で美術館なら歴史博物館の展覧会のお知らせを配りましたし、歴史博物館の方では逆に美術館ではどんなことをしているということをお知らせしましたので、今後もお互いにそういうことをして、入館者の増に努めていきたいと思っています。

波佐間清(教育長)

はい。歴史博物館の方はいかがですか。

古城春樹(歴史博物館長補佐)

施設間の連携というのは大変重要なところだと思っております。今、美術館の方との連携も申しあげましたけれど、日清講和記念館と東行記念館、この辺りも常に情報を出し続けるということを見せていただいております。市域全体の博物館ネットワークがしっかりと繋がることを目標にしまして、市民の方への周知に努めさせていただきたいと思っております。

波佐間清(教育長)

紅葉シーズンに「彩の城下町長府」ということで、歴史博物館も美術館もその時には開館時間を延長して足を運ばれる方に少しでもというようなこともやっているということで、そういう関連も含めて、こういうせつかくの施設を、市民の方、そして学校の先生、子供達にも広く周知をして、どうぞ4月の教育基本方針説明会の時にでも、また、しっかりとアピールをしていただければというふうに思います。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、「土井ヶ浜整備事業基本構想について」は報告済みといたします。

#### 【その他】

波佐間清(教育長)

それでは、日程3その他ですが、何かございますでしょうか。それでは、児玉委員さん。

児玉典彦(教育委員)

教育委員研究会の報告を簡単にさせていただきます。冒頭に文科省から新しい学習指導要領についての説明がありましたが、これは割愛をします。その後、新しい教育委員会制度の改正について分科会を持ちました。その分科会で感じたこと、それから文科省の担当者から助言がありました。それについていくつかお話をさせてください。教育委員として大事なことはまず、学校に行く、学校に足を運んで視察をする。それがまず始まりですよというお話をいただきました。それから、わからないことは「わからない」と声を上げる。教育委員がわからないことは、一般市民には当然わからないのだから、遠慮せずわからないことをわかるようにしっかりと声を上げてくださいということでした。それから、あくまでも教育委員としては、委員会の事務局を応援するスタンスを保って発言し、活動をすることが大切だということを感じました。最後に文科省の担当者からの助言として、私達教育委員は非常勤ですが、議会の同意を得て市長さんから任命されており、その責任はとても重い。私達の発言が市長の任命責任に及ぶこともあるのですよという話を聞いて、身が引き締まる思いでした。寒い中、道を間違えて、随分時間がかかって会場に辿り着きましたが、とても勉強になりました。ありがとうございました。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。大阪の方で研修会があったという報告でございます。道を間違われて大変だったと思いますが、何とか帰ってこられたということでもあります。他に、伊東委員さん。

伊東まさ子(教育委員)

先日、歴史博物館の方に毛利元就を見に行きました。企画展の入場料は200円だったんですけども、こんなに立派なパンフレットをいただいて、永久保存版かなっていうくらいなんです

けれども、チラシにも載っていましたが毛利元就御座備図は、本物を見ると凄く圧巻でとても素晴らしかったのですが、28日まででもう期限が短いんですけれども、近くに寄られることがあったら、是非ご覧になってください。次の朝鮮通信使の方も是非期待したいなと思ひまして、私事ですけれども、下関音楽人の会に所属していて、その代表をしてるのですけれども、その会報が年に2・3回発行されるのに合わせて、今日古城さんからチラシを50枚いただいたので、同封して皆さんに周知したいと思っています。また、是非朝鮮通信使も早めに見に行きたいなと思っているので、期待しています。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。歴史博物館の方での毛利元就と、朝鮮通信使。まだ毛利元就は28日まで。もうちょっと時間があるので、まだの方は本物をしっかり見に行っていたらというふうに思います。

これの他の説明の方、パンフレットと。美術館どうですか。

中村正子(美術館副館長)

美術館でございます。よろしくお願ひいたします。美術館からのお知らせとお願ひです。美術館、博物館の展覧会情報を紹介しているインターネットミュージアムというサイトの中で、今年も干支コレクションアワードという企画が展開されております。これは、干支の動物、2018年は戌年ですので、犬にちなんだ美術作品を紹介しつつ好きな1点に投票するインターネット上の企画でございます。全国の美術館、博物館から多くの作品がエントリーされています。下関市立美術館からは狩野芳崖の「鱗姫像」をエントリーしております。下関市が誇る近代日本画の父 狩野芳崖が描いた長府毛利家のお姫様「鱗姫」が抱いている犬のチンは、江戸時代に大奥や大名家のご婦人方に愛されたということでございます。本作品に多くの方が投票していただき、下関市を全国にPRしていければと思ひております。是非、応援して下さいますよう、職員の皆様にもご案内下さい。また、本作品は下関市立美術館で現在開催しております所蔵品展で2月25日まで展示しておりますので併せてご案内いたします。詳しくはお配りしましたチラシをご参照ください。よろしくお願ひいたします。

波佐間清(教育長)

インターネットで干支コレクションのこれまでの成績を覚えていますか。是非皆さんも投票してください。

中村正子(美術館副館長)

この2018年ののは、昨日で50票入ってまして14位になっております。首位は649票入っています。

波佐間清(教育長)

是非、職員の方にも言って、このQRコードで、入れてあげてください。毎年やっていますよね。以前何位だったかをお願いします。

中村正子(美術館副館長)

未年の2015年が13票で26位でした。次の申年2016年が347票入って3位でした。それから昨年が酉で156票で3位でした。

波佐間清(教育長)

なら上位3位になるように、協力をしっかりしてあげてください。本物も見に行っていたらと思います。それでは菊川、お願いします。

林文男(菊川教育支所長)

菊川教育支所です。アブニールでは毎年、アブニール学級を行っております。今年は2月18

日の日曜日ですが、萬屋手話本舗ぶ〜&み〜企画として講演会、漫才になるのですが、これを予定しております。例年、昨年度が矢野大和さん、それから3年前ですか、小野文恵さんという方々をお招きして講演会を行っておりますけれど、今年は少し趣を変えまして、1人はろう者、もう1人は手話ができる方、手話とお話で漫才をするという企画でございます。毎年このアブニール学級、無料で開催しておりますけど、皆さん菊川の方はもとより、市民の方皆さんに来ていただいて楽しいひと時を過ごしていただければと思っております。是非、ご来場いただきたいと思っております。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。是非、2月18日、入場無料ですので、応援に行ってお話いただければと思っております。その他何かございますか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

なければ、次回の日程ですが、2月の教育委員会定例会は2月27日火曜日9時半から当センターで開催の予定であります。委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、議案の第1号の審議に移りたいと思っております。傍聴者の方はいない。よろしいですね。

**【議案審議】**

議案第1号 平成30年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択変更について

下関市教育委員会会議規則第17条ただし書きの規定により、非公開

**【閉会の宣告】**

波佐間清(教育長)

それでは、本日の議事すべてを終了いたしました。これで定例会を終了いたしたいと思います。お疲れでございました。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員